

財務諸表に対する注記

(平成25年3月31日現在)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法
満期保有目的有価証券：償却原価法(定額法)によっています。
その他の有価証券(株式)：時価法によっています。
- (2) 棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はありません。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっています。
- (4) 引当金の計上基準
引当金はありません。
- (5) リース取引の処理方法
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2. 会計方針の変更

(1)平成21年度から「公益法人会計の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用しています。

(2)会計区分の比率は以下のとおりです。

公益目的事業	92.5%
法人会計	7.5%

3. 基本財産の増減額およびその残高

(1)一般正味財産の基本財産の増減額およびその残高は、次のとおりです。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	505,762,000	0	0	505,762,000
普通預金	3,641,008	148,929	0	3,789,937
投資有価証券	1,390,596,992	296,069	0	1,390,893,061
株式(54,000株)	183,600,000	89,640,000	0	273,240,000
合計	2,083,600,000	90,084,998	0	2,173,684,998

※株式は平成25年3月末現在の時価表示

(2)指定正味財産の基本財産の増減額およびその残高は、次のとおりです。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
株式(89,937株)	305,785,800	149,295,420	0	455,081,220
合計	305,785,800	149,295,420	0	455,081,220

※株式は平成25年3月末現在の時価表示

4. 基本財産および特定資産(研究助成資金等)の内訳

(1)基本財産の財源等の内訳は次のとおりです。(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産か らの充当額	うち負債に対応する 額
定期預金/普通預金	509,551,937	0	509,551,937	0
投資有価証券	1,390,893,061	0	1,390,893,061	0
株式(143,937株)	728,321,220	455,081,220	273,240,000	0
合計	2,628,766,218	455,081,220	2,173,684,998	0

(2)研究助成資金の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産か らの充当額	うち負債に対応する 額
定期預金/普通預金 /通知預金	193,993,499	193,993,499	0	0
投資有価証券	455,957,870	455,957,870	0	0
有価証券 (MMF・FFF)	43,520,259	43,520,259	0	0
合 計	693,471,628	693,471,628	0	0

※投資有価証券は簿価表示です。

(3)竹中奨励賞資金の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産か らの充当額	うち負債に対応する 額
定期預金	9,503,426	9,503,426	0	0
合 計	9,503,426	9,503,426	0	0

(4)公益目的事業資金の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産か らの充当額	うち負債に対応する 額
定期預金/普通預金	375,970,070	375,970,070	0	0
合 計	375,970,070	375,970,070	0	0

(5)法人会計資金の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産か らの充当額	うち負債に対応する 額
現金	10,000,000	10,000,000	0	0
合 計	10,000,000	10,000,000	0	0

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

6. 保証債務等の偶発債務

該当ありません。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益は次の通りです。

【基本財産】

(単位:円)

種類および銘柄	3月末帳簿価額	3月末時価	評価損益
第74回 利付国債(5年)	299,975,627	300,630,000	654,373
第88回 利付国債(5年)	499,857,864	504,316,500	4,458,636
第97回 利付国債(5年)	100,059,314	101,030,000	970,686
第102回 利付国債(5年)	100,478,442	100,740,800	262,358
第105回 利付国債(5年)	189,879,597	190,677,540	797,943
第314回 利付国債(10年)	200,642,217	211,060,000	10,417,783
基本財産の合計	1,390,893,061	1,408,454,840	17,561,779

【研究助成資金】

(単位:円)

種類および銘柄	3月末帳簿価額	3月末時価	評価損益
第92回 利付国債(5年)	49,975,320	50,295,750	320,430
第92回 利付国債(5年)	99,950,642	100,591,500	640,858
第95回 利付国債(5年)	20,001,113	20,313,560	312,447
第105回 利付国債(5年)	49,968,328	50,178,300	209,972
第250回 利付国債(10年)	19,960,395	20,018,820	58,425
第251回 利付国債(10年)	19,978,551	20,036,140	57,589
第252回 利付国債(10年)	19,983,308	20,040,460	57,152
第253回 利付国債(10年)	30,031,667	30,215,670	184,003
第254回 利付国債(10年)	30,003,439	30,187,560	184,121
第255回 利付国債(10年)	20,011,932	20,134,400	122,468
第256回 利付国債(10年)	30,000,000	30,287,340	287,340
第258回 利付国債(10年)	19,976,966	20,238,040	261,074
第260回 利付国債(10年)	16,032,266	16,299,504	267,238
第55回 利付国債(20年)	30,083,943	33,987,000	3,903,057
研究助成資金の合計	455,957,870	462,824,044	6,866,174

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高
公的機関からの補助金はありません。

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産の振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
受取寄付金	55,876,504
基本財産受取配当金	11,691,810
特定資産受取利息	6,721,095
研究助成資金取崩	43,620,070
合計	117,909,479

10. 関連当事者との取引の内容
該当ありません。

11. 当年度に発生した寄付は次の通りです。

(1) アステラス製薬(株)からの指定寄付金

(単位:円)

項目	金額
預金	10,000,000
合計	10,000,000

(2) 個人からの指定寄付金

(単位:円)

項目	金額
預金	1,010,000
合計	1,010,000

12. 指定正味財産の増減は次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金/通知預金 /普通預金/現金	528,049,120	61,417,875		589,466,995
投資有価証券 (国債)	605,899,500		149,941,630	455,957,870
投資有価証券 株式(89,937株)	305,785,800	149,295,420		455,081,220
投資有価証券 (MMF/FFF)	43,483,735	36,524		43,520,259
合計	1,483,218,155	210,749,819	149,941,630	1,544,026,344

※国債は簿価表示です。

13. 重要な後発事象
該当ありません。

14. その他公益法人の資産、負債および正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

過年度に基本財産運用益で会計区分間に配賦の誤り(316,085円)があり、これを平成24年度に修正しています。これを受け、基本財産運用益の公益目的事業と法人会計の配賦比率は通常92.5対7.5から90.8対9.2へ変動していますが、平成25年度は通常に戻ります。